

## 巻 頭 言

大阪人間科学大学の紀要は、2002年3月31日に創刊号が発行されて以来、本号で第22号目になります。その間、学術研究委員会において紀要編集に関して様々な取り組みが行われてきました。従来の内部査読システムに加え、各専門領域の学外編集委員に第三者の視点から各論文の査読を依頼する制度の導入もその一つです。昨年に引き続き今年度も学外委員の方々には査読協力をお願いしました。

さらに、今年度、大阪人間科学大学の紀要は新たな展開を迎えました。第21号までは紙媒体でしたが、今回の号から「大阪人間科学大学オープンアクセス方針」を定め、「大阪人間科学大学紀要投稿規程」を改正し、大阪人間科学大学学術リポジトリを通じてインターネット上に無償公開することになりました。本号はその記念すべき第1号です。インターネット上への紀要公開は、投稿された論文を速やかに世界の人々に向けて発信することができ、日頃の研究成果を社会に還元する機会が増えることになるでしょう。

本学は、開学当初の1学部2学科体制から現在の3学部7学科体制になり、大学院も合わせて発展してきました。それに伴って、福祉・介護、保育、教育、心理、医療技術やリハビリなど様々な学問領域からの研究への取り組みが展開されています。コロナ感染の広がり残念ながら2022年度も収束に至らず、社会・経済活動の自粛や対人関係の変化など、以前とは大きく異なる生活スタイルを余儀なくされ、解決すべき問題・課題は山積しています。それらに関連する本学における多彩な学問領域からの研究成果は、学術学会での発表や学術学会誌への投稿はもちろんのこと、インターネット上で閲覧可能となった本学の紀要を通して積極的に公表されることが期待されます。

今後も学術研究委員会は、紀要をはじめ本学の学術研究の充実を目指して取り組んでいきますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願いします。

令和5年3月

大阪人間科学大学紀要編集委員 箱井英寿